

平成30年4月～30年9月分新倉高齢者福祉センターモニタリング評価表

施設名 新倉高齢者福祉センター

指定管理者 株式会社 日本生科学研究所

評価内容	検査項目	評点
①サービスの維持・向上に向けた取組が行われているか。	1 利用者サービスの向上や利用促進のための取組がされたか	3.0
	2 利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか	3.0
	3 人権尊重に配慮したサービス提供、情報提供がされたか	4.0
	4 利用者意見、要望が管理運営に反映されたか	3.0
【工夫・改善点等】 ○新たな取組として施設見学会を実施するなど、利用促進のための取組がされている。今後も継続的に取組を実施して利用促進を図ってください。 ○包括支援センターとの連携により一般の高齢者福祉センター利用者のアセスメントを行い、介護予防及び孤立化予防の視点を持って、リスク者には簡易ケアプランを作成する取組を始めている。今後対象者の拡大をしてください。		
②施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	1 適正な施設の維持管理、運営が行われたか	3.5
	2 備品台帳により記録が適切に保管されているか	4.0
	3 市と指定管理者の備品が明確に区別されているか	4.0
	4 必要な修繕を適切に行い、市に報告しているか	3.0
【工夫・改善点等】 ○必要な修繕が生じた際には、すみやかに市に報告がされ、適切に修繕が実施されている。老朽化の進む施設であるため、不具合がないか常に細心の注意を払い、今後も適切な維持管理に努めてください。 ○備品台帳について、確実な管理に努め、引き続き台帳の整備を徹底してください。		
③緊急時の対応、安全管理などの危機管理が適正に行われているか。	1 事故、苦情に対する対応は適切であったか	3.0
	2 危機管理に関するマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか	3.0
	3 避難経路は適切に確保されているか	4.0
	4 事故、災害等の緊急時の連絡体制が確立されているか	4.0
【工夫・改善点等】 ○事故や苦情があった際に、適切に市に報告することが出来ている。今後も職員対応がマニユア		

<p>ルに基づき適切に実施されるように研修等の機会を設けてください。</p> <p>○消防訓練は当初計画どおり実施されている。今後は訓練想定を変更するなどして緊急時の対応が適正に実施されるようにしてください。</p>		
④ 快適な職場環境を実現し、職員の安全と健康が確保されているか。	1 適正な人員(人数、有資格者)が配置されたか	4.0
	2 スタッフのシフトは適正であるか	3.0
	3 事業計画書に即した内容・頻度で教育・研修を実施したか	3.0
	4 施設内が整理整頓されているか	3.0
<p>【工夫・改善点等】</p> <p>○適正な職員数で施設運営が行われている。今後も引き続き職員の健康に配慮しながら、よりよい施設運営に努めてください。</p> <p>○センター内の清掃活動にとどまらず、センターの中庭や外周についても引き続き定期的な清掃に努めてください。</p>		
⑤ 指定管理者としての努力がなされているか。	1 指定管理事業及び自主事業は当初計画と整合しているか	3.0
	2 収支状況は当初計画と整合しているか	3.0
	3 経理事務が適正に処理されているか	4.0
	4 経費削減への取組がされているか	3.0
<p>【工夫・改善点等】</p> <p>○新規登録目標、1日平均来館者数が目標値を下回っている。気候等の影響もあるとのことであるが、今後も分析を行い、対応策を講じてください。</p> <p>○節電の取組に加え、節水についても館内掲示して利用者の協力が得られるように取り組んでいく。</p>		
<p>67.5点 (評点実数の合計)</p> <p>結果 _____ × 100 = 84.38% (評点の割合)</p> <p>80点満点 (最高点の合計)</p>		

評点の基準例

評点の基本的な考え方	点数
協定書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。(優良)	4点
協定書等を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。(良好)	3点
協定書等を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。(課題含)	2点
協定書等を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。(要改善)	1点